

## おいしい物をお届けしたい

**末房 太一さん**

1974年生まれ  
就農年月 平成24年4月  
就農地 紀の川市桃山町

受講研修：平成23年度農業大学校社会人課程  
就農前職業：料理人(8年)、パティシエ(9年)  
出身地：大阪府泉佐野市

### ●農業を始めようとしたきっかけ

ホテルの料理人となって、デザートを出したときの喜ぶ姿を見てパティシエに興味を持ち独学で技能を学んだ。しかし、埼玉へ転勤したことをきっかけに管理業務が増加し「ケーキ作りと言った現場仕事を続けたい、都会暮らしより田舎暮らしがしたい」という気持ちが強くなり、また農産物の廃棄ロスが思う以上に多い事を仕入れ農家から聞いていたことを思い出し、「生果の栽培から販売までを一からやってみよう」との気持ちが強まりました。



### ●就農準備

#### ・農地の確保

現在1.9ha(借地)で経営しているが、きっかけが公的機関ではなく、知り合い等の口コミで規模を縮小する農家を通じて借り受けている。

#### ・住宅の確保

地域では空き家は多いものの、「仏間がある」などの理由で貸し出しに応じてくれなかった。それでも就農当初は知り合いをたよって阪南市内で賃貸を借り、今では桃山で知り合いからの紹介で住居を確保できた。

#### ・生活を支えた補助的収入

就農当初2年間はホテルの料理人やパティシエとして働いて得た貯蓄を取り崩したり、苗木屋や柿農家でのアルバイトをした他、県就農特待生(新農業人あんしん自立支援事業、2008～2010年100万円)などで生活を支えた。

### ●新規就農を目指す方へのアドバイス

個人販売する上でパッケージを始めとした消費者目線・女性目線は特に大切と感じている。今でこそ「あら川」のブランドのお陰で安定した収入を得られているが、初めの2年間は名前も売れていないこともあり、売れ残りが多く廃棄を出した。桃は引き合いが強くて売れ残らなければ数少ない品目なので、我々も含めて新規に就農する人も「儲かっている」と声を出していかないと「儲からない」では後に続く人はいないと考えている。

### ●今後の農業経営の目標

現在の栽培面積は1.9ha(全て借地)だが、今年から雇用している人の労力分散を図るため、秋から冬の農閑期を活かして菜の花の栽培を始めるため、借地を増やして2.7haとし、またこれに併せて常雇用を2名、パートを3名に増やしていく。

### ■農業経営の経過

	就農1年目	5年目	現在
作目	桃	桃	桃
農地面積	0.7ha	1.9ha	1.9ha
労働力	本人	本人、妻、パート(若干名)	本人、妻、パート(若干名)
販売先	農協	直売	直売